

心を彩る
美しい紅葉

～季節を切抜く美しい記録～

最近目は目が覚めたとき寒さを感じ、季節はすっかり秋となりました。秋と言えば「そうだ○○、行こう。」と古都を想い

美しい紅葉が目には浮かびます。紅葉とはなんと風情があり、紅や黄の美しい世界に身を置けば寒さも忘れ心が和みます。このような言葉では表すことのできない感覚の世界が私は好きです。

紅葉狩り…嵐山の紅葉は実に素晴らしく心に残ります。ですが茨城県からでは、なかなか気軽に行きません。茨城県も自然が多く紅葉スポットは沢山あります。筑波山をはじめ袋田の滝に花貫溪谷、竜神峡に西連寺の大イチョウ、国営ひたち海浜公園では風変わりなコキアの紅葉が有名ですね。ぜひ美しい自然の中に身を置き「息」つきたいものです。

紅葉といっても…

紅葉といえは同じ漢字の「モミジ」も思い浮かべますね。紅葉（コウヨウ）は落葉樹が冬に備えて落葉する前に葉を紅や黄に色を変えることをいい、

これは太陽の光、日照時間に関係があります。秋から冬にかけて日照時間が短くなると、木々（落葉樹）は葉っぱまでの栄養を十分に作れなくなり、つまり葉緑体が使われなくなり壊れてきてしまうことで葉が枯れ、黄色や橙、紅色へと変化し、最後は落葉していくのです。それは次の暖かい季節、春までに栄養を蓄える姿でもあります。

似ているけれど名前の違う「モミジ」と「カエデ」。植物分類上では区別はないようですが、園芸や盆栽の世界では葉の切れ込みの数で区別され5つ以上に葉が分かれ手のような形のものにはモミジ、3つの切れ込みの葉はカエデと呼ばれます。代表的なのはカナダの国旗にある葉ですね。これはカエデですが英語でメイプルといえます。ここからイメージがつくようにカエデは世界中に多く分布していますが、モミジの多くの種は日本列島に分布しているそうです。

だから日本人はモミジ（紅葉）（コウヨウ）が好きなのかもしれません。

紅葉を美しく撮ろう

紅葉狩りで綺麗な写真を撮るためのアドバイス。まずは「光を知って光を活かします。光がどこから差し込んでいるか？光源を意識しましょう。太陽の向きをいつも心掛け順光かサイド光で撮ると綺麗に

表現できます。順光とは光源を背に被写体が明るく写り、サイド光とは光が横・斜横から入り木々に影の演出もできます。敢えて逆光（光源へ向く）で撮影する場合は木漏れ日のように光源を葉に透かせ、輝かせるように撮ることです。美しい発色の写真となります。直接光源を撮影すると他が全て影になってしまうので注意しましょう。

また露出の調整（絞り）とシャッター速度）などができるカメラであれば光を取り込む量と時間を調整することにより、さまざまな表現ができます。同じ風景の中で自分の持ったイメージを撮影するために、露出のプラス補正やマイナス補正を試し、楽しみながら撮影しましょう。ホワイトバランスを調整しても様々な色味の表現ができます。

最後に、様々な構図をイメージし、同じ風景をいくつも写真で表現することも大切です。風景全体を撮影する：紅葉の美しい木々や葉だけを撮影する：渓流や湖、滝などをに入れて撮影する：場合によっては湖面に映る紅葉の木々を撮影する：広い視点で色々な秋の風景を撮影することにより、自由に楽しい写真が撮れるはずですよ。

心を彩る美しい世界を宝物にしましょう。

（企画制作部 田口一寿）



029(233)6143

www.lilyacademia.com

一人ひとりの学ぶ力が伸びる、毎日が楽しい学習塾！
LA リリーアカデミア
Lily Academia

塾生募集

- ・信頼と実績、リリーグループの学習塾
- ・パソコンだから実現できる、「わかりやすい」「楽しい」自立学習システム
- ・無料体験レッスン随時開催中！